

森林環境譲与税に関する決算(令和元年度)

都道府県名	事業区分	事業名	事業総額(千円)			当年度基金への積立額(千円)	事業内容	針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	実績										税導入の効果	
			(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税(千円)	(B)うち他の財源(千円)				市町村等を対象にした研修会・講習会				アドバイザー等が支援を行った市町村数	事業体等への助成		担い手を対象にした研修・講習・求人イベント等		森林情報高度化・マニュアル等作成(自由記載)		その他の実績値(自由記載)
									回数(回)	参加者数(人)	市町村数	事業体数		支援対象者数(人)	回数(回)	参加者数(人)				
静岡県	④アドバイザー、人材派遣等	市町森林整備実施体制等支援事業	10,947	10,947	0	30,406	県が森林・林業に関する専門技術者(林業普及指導員及びふじのくに森林整備アドバイザー)を市町に派遣し、市町の取組を支援。市町が森林情報を円滑に取得するために必要な森林GIS等の操作研修を実施		22	193	25	35							・ふじのくに森林整備アドバイザーが支援を行った延べ回数224回	
静岡県	⑥人材育成・担い手対策支援	ビジネス林業等担い手確保育成事業	57,943	57,943	0	0	就業希望者に対する現場見学会の開催							3	31					<人材育成及び担い手対策> ・森林整備の事業量増加に伴い不足する見込みの林業就業者を確保するため、就業相談会や現場見学会を計6回開催し、多数の参加を達成した。相談会等の開催が就業につながっており、マッチングの機会として就業希望者と林業経営体双方の期待に応えた。 また、森林技術者や林業経営体の技術力を向上するため技術研修会や組織研修を実施し、受講者からは、低コスト化と安全性を追求した知識・技術の習得ができた。経営の目標が定まった。等、今後の経営改革を期待できる意見が多く聞かれるなど、生産性の向上に向けた意識の高まりが感じられた。 ・令和2年度に新設される「県立森林環境専門職大学」における新たな林業の担い手を育成するため必要な備品等を整えた。
							就業希望者に対する就業相談会の開催							3	163					
							就業内定者等に対する就業前研修の実施							2	15					
							新規就業者に対する安全装備の支援													・新規就業者42人助成
							林業経営体が新規就業者に支給する住宅手当を助成						4	4						
							新規就業者を森林技術者として育成するための技術研修を実施							1	4					
							指導者を養成するための研修を実施							1	5					
							経営体の組織力を高めるための生産システム研修等を実施													・生産システム研修 5経営体 ・能力評価システム研修 6経営体
静岡県	⑥人材育成・担い手対策支援	農林大学校専門職大学移行事業	12,529	12,529	0	0	令和2年度に新設される「県立森林環境専門職大学」の林業関係機械等を購入して林業の担い手を育成													・備品購入(11品目)(超音波受光測定器等)
静岡県	⑦木材利用の推進	市町森林整備実施体制等支援事業	4,187	4,187	0	0	木材利用促進研修会を開催する等して建築物の木造化・木質化に向け支援		9	122	19									
静岡県	⑧普及啓発の支援	市町森林整備実施体制等支援事業	3,988	3,988	0	0	森林環境教育指導者を育成する等して森林環境教育を推進													・森林環境教育指導者23人育成